

会 議 事 録

1 会議名	平成29年度 第1回長岡市環境審議会
2 開催日時	平成29年9月28日（木曜日） 午後2時00分から午後4時00分まで
3 開催場所	長岡市寿クリーンセンター2階会議室
4 出席者名	<p>(委員) 解良会長 大原副会長 西俣委員 宮腰委員 龍池委員 田村委員 中山委員 丸山委員 横山委員 坂本委員 平澤委員 猪俣委員 若井委員</p> <p>(事務局) 若月環境部長 宮島環境政策課長 野口環境施設課長 小林環境業務課長 遠藤環境政策課長補佐 野村環境政策課係長 長谷川環境政策課係長 林環境政策課主任</p>
5 欠席者名	小林委員、湯澤委員
6 議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長、副会長選出 2. 「平成29年版 環境に関する年次報告書（案）」について 3. 第四次長岡市環境基本計画の骨子案について
7 審議結果の概要	<p>【議題1について】 会長に解良委員、副会長に大原委員を選出した。</p> <p>【議題2について】 審議会が出た意見等を盛り込みながら、今後も環境基本計画に基づく様々な施策に取り組むこととする。</p> <p>【議題3について】 審議会が出た意見等を踏まえて、計画策定を進めることとした。</p>

8 審議の内容	
事務局	平成29年度 第1回長岡市環境審議会を開催します。
事務局	初めに、若月環境部長からごあいさつ申し上げます。
事務局	(あいさつ)
事務局	(会議資料の確認、各自自己紹介、欠席報告について)
事務局	それでは議事に移らせていただきます。
事務局	会長、副会長選出の議事進行につきましては、事務局の環境政策課長宮島より行わせていただきます。
事務局	議題1の会長・副会長の選出についてでございます。
事務局	(資料3裏面の「長岡市環境審議会規則」の第2条について説明)
事務局	会長、副会長の選任について皆様からご意見ございますでしょうか。ご意見がなければ事務局の腹案がありますので、ご紹介させていただきます。会長に解良委員、副会長に大原委員を提案させていただきます。この案につきまして、ご承認をいただけますでしょうか。
事務局	(異議なし)
事務局	それでは解良会長、大原副会長より改めてごあいさつをお願いいたします。
会長	(あいさつ)
副会長	(あいさつ)
事務局	それでは議事進行を会長よりお願いいたします。
会長	それでは、議題に入ります。議題2の平成29年版 環境に関する年次報告書(案)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(報告書について、資料により説明)
会長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問はありませんか。
委員	年次報告書の本編8頁(オ)BDF(バイオディーゼル)燃料製造の促進の中で、「ながおか菜の花プロジェクトを推進しています。」とあるが、プロジェクトで製造した菜種油が売れず、農業者が大変苦しんでいる状況にあると認識している。今のプロジェクトの状況についてどうなっているのか伺いたい。
事務局	農水産政策課の事業であり、事務局で現状を把握できていない状況である。
委員	「推進しています。」と言っている以上、把握しておく必要があるのではないか。

会長 事務局 委員	<p>関係課に確認して、次回報告してほしい。</p> <p>確認し、次回の審議会でご報告する。</p> <p>太陽光発電システム設備の設置が増加しているのは良いことだが、他の自然エネルギーにも視野を広げていく必要があると感じている。</p>
事務局	<p>長岡市は水資源が豊富なので、小水力発電に視点を向けてはどうか。</p> <p>水力発電について、長岡市は大河信濃川やその支流も多く、確かにポテンシャルとしては高いものがあると考えますが、いくつかネックとなることがある。水と共に流れてくるごみ等が水力発電で引っかかってしまい稼働がうまくいかない事例があったり、小水力においては、山際の小さな水路で発電しても、使用するところまでの送電をどうするかなど、消費の仕方やメンテナンスの点で諸課題があり、進んでいない状況である。一方、太陽光発電や木質バイオマス等、導入にあまり障壁がないものについては少しずつ普及しているところである。</p>
委員	<p>この辺の地域の日照時間を考えると、太陽光発電に特化せず、様々なエネルギー利用を考えていってほしい。</p>
会長	<p>地球温暖化対策の中期目標については現状を見ると達成できないと思われるが、長岡市の達成状況は他市町村と同じような状況であり、突出して遅れているようなことはないか。</p>
事務局	<p>地域の特性があり、関東側の工業地帯では重工業が盛んであり、それにより数値がだいぶ変動したり、新潟については、気象状況によって、冬場に気温が下がれば暖房などの使用によるCO₂排出量が増えるという傾向はあるが、特に他市町村と比較して遅れているということはない。</p>
委員	<p>6頁で一般廃棄物の排出量は減っているということだが、事業者の廃棄物についてはどうか。</p>
事務局	<p>事業系については減っていない、横ばいという状況である。燃やすごみの減量は進んでいるところであるが、一般家庭については3割の削減であり、事業系と合わせた全体で見ると2割削減というところから考えると、事業者側の分別があまり進んでいないのが現状で、今後の課題であると認識している。</p>
委員	<p>その辺のデータが出てくると、より状況がわかると思う。</p>
副会長	<p>本編15頁古紙類収集量の推移について、これは目標として、増えた方が良いのか、減った方が良いのか。</p>
事務局	<p>ごみの総量の減量が第一となる。</p>
委員	<p>6頁上段の地下水に関連して、長岡駅前では時間帯によって水が出ない時間が設定されているようだが、他の地域でもそうなっているのか。</p>

事務局	<p>一日のなかで午後2時から3時と午後4時から5時の2時間は、東北電力との契約で水が出ない契約となっており、東北電力管内であれば、この契約となっている。</p>
委員	<p>水が出っぱなしの場所もあるようなので、もっと周知してほしい。</p>
委員	<p>本編13頁（カ）事業系ごみ手数料の改定に関連して、事業系のごみの手数料について、手数料をかなり高く設定し、生ごみだけはかなり安く、あるいは無料にすると、企業は分別をすると思うがどうか。</p> <p>また、燃やすごみや生ごみの袋の価格がどう決まっているかわからないが、こちらも、さらに燃やすごみを高く、生ごみを安く設定すると効果がでると思うがどうか。</p>
事務局	<p>確かに処理料金により政策誘導する方法はあると思うが、シミュレーションしてみるのも一つの方法だと考えている。</p>
事務局	<p>事業系のごみについて、生ごみはどれくらいあるのか他市の事例を参考に推計したが、実際に長岡市の事業系のごみの中に生ごみがどれくらいあるか把握できていない状況である。また、分別するとなると、もともと燃やすごみの中に入れて1回で収集できていたものが、燃やすごみと生ごみの2回の収集になるので、収集経費が上がり、収集処理料をそれに見合うだけ上げれば分別してもらえるかもしれないが、事業者側がどう思うかもあり課題である。なお、現状でも、処理料に差はつけているが、収集経費に見合う程の差はついていないところである。</p>
委員	<p>処理料を上げることによって、例えば、隣の町に不法投棄するという事も考えられるので、近隣市町村と連携しながら検討してもらいたい。</p>
会長	<p>実態を把握して、あらゆる方向からの検討してほしい。</p>
委員	<p>本編58頁の鳥獣被害について、農協組合員と話をする中で、サルを何とかしてほしいとの話を聞くことがある。</p> <p>サルのテレメトリー調査の実施には感謝しているところであるが、実際に被害を受けられている方からは、ホームページに公開されても、実際どうしていいかわからないという声や、どこに相談したらいいかわからないという声がある。</p> <p>具体的な住環境のところに対する支援や各組織が連携をとった対応を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>サル被害については、昨年度からテレメトリー調査を始めたところである。この事業は、農林水産部と連携しており、環境部ではサルの行動域調査を行い、農林水産部では鳥獣被害防止実施隊でサルを捕獲し、数を減らすといった取り組みをしている。しかし、サルの繁殖力</p>

	<p>が強く、かつ、広域に移動するため、なかなか目に見えた効果が分かりづらい状況であると考えている。サル被害の防止としては、行政の取り組みと一緒に、地域で電気柵を設置するとか、追い払いを行うなど、各地域での取り組みも並行して実施していくことも大事になってくると考えている。そうしたサル被害や防止対策の相談については、栃尾地域であれば栃尾支所の農林課にさせていただければと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>栃尾地域だけではなく、市全体としてどこへ連絡すればよいかという案内はあるか。</p>
<p>委員</p>	<p>中山間地は高齢者が多く、ホームページに情報を載せてもわからない方が多いので、関係者が連携し、紙による周知など方法を検討してほしい。</p>
<p>事務局 委員</p>	<p>支所地域においても、サル被害のお知らせなど周知していきたい。学校では環境教育を一生懸命やっており、子どもの環境に対する意識は非常に高く、ごみの分別に対する意識も高く、給食の食べ残しもほぼない状況である。こういった教育を受けた子ども達が成長し、大人になった頃には、宴会での食べ残しがなくなるだろうと感じている。</p>
	<p>自分たち大人も範を示せるように行動していかなければならないと感じており、校長会等でも、そういったことを伝えていきたい。</p> <p>環境教育については、長岡市が一生懸命やっているという事が、周知されていない部分があると思うので、校長会等と市とで連携して活動していきたいと考えている。</p> <p>新潟市では、見学用のバス代を出して、県庁や各施設を見学させてもらえると言っている。予算が少ない中、今はバス代が上がっているため、どこに行くにしても厳しい状態であるので、市の方でそういった施設見学の環境教育プランを用意していただければ、より周知ができると思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>毎年、長岡市では小学校4年生になると、寿と鳥越の焼却場の施設見学をされている。見学の様子を家に帰って家族で話をしたりすることが環境について考える機会になっていると思う。</p>
<p>委員</p>	<p>本編全般について気づいた点として、グラフのデータ等で示している期間が3年間であったり5年間であったり、またデータが記載されていなかったりと一貫性がないので、5年なら全て5年で合わせた方が良い。</p> <p>また、1節、2節は丁寧に作られているが、3節以降は文字だけのところも多くなっているため、写真や表などを入れてわかりやすくした方が読みやすいものになると感じた。</p>

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>全体として概ね計画通りに進められていると思われるが、様々なご指摘や意見を反映して進めてほしい。</p> <p>続いて、議題3の第四次長岡市環境基本計画の骨子案について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(報告書について、資料により説明)</p>
<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>ただ今の説明について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>アンケート調査は終わっているということだが、前回調査との比較ができるようになっているか。また、旧長岡市とそれ以外の地域では意識に違いがある。その辺を把握されて、広域化という部分で新計画に盛り込んでもらいたい。</p> <p>それから、骨子案12頁評価指標については、目標値がはっきり示されて良いと思うので、各課調整のうえ、指標が設定できるものは設定して行ってほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回のアンケートは、県が実施したアンケートと比較できるようにした。</p> <p>また、評価については、ある程度管理しやすい評価指標を設けていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>11頁④「広域的、国際的な取り組み」の広域的、国際的な取り組みへの参加とある。実績として、国際的なシンポジウムに参加すれば国際的な取り組みとするというのではなく、1つの案として、国連レベルで持続可能な開発という事で、その目標がSDGs（エスディージーズ）になっている。SDGs（エスディージーズ）の17の取り組みのうち12は環境に関連していると言われている。そういった意味で広域的、国際的な取り組みについて、SDGs（エスディージーズ）を取り入れ、国連の目標に長岡市として参加して取り組んでいるとできればいいと思う。それにより単なる環境教育ではなく、もっと広がった環境教育になるので検討してはどうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、広域的、国際的な取り組みへの参加というのは、あくまで一例としてあげたものであり、この項目については、次回、素案の中で示していきたいと考えている。また、SDGs（エスディージーズ）については、環境省でもSDGs（エスディージーズ）を根底として次期環境基本計画を策定していくとしている。また、東京都においても廃棄物処理計画をSDGs（エスディージーズ）に絡ませて既に策定して執行している。SDGs（エスディージーズ）については、環境だけでなく、全てのゴールの根底に流れるエッセンスで、多面的に持続可能な社会を創ろうという崇高な理念だと考えている。新しい切</p>

	<p>り口としてSDGs（エスディーゼーズ）を加えていきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>化学物質について、いろんな化学物質があるが第三次計画には「香りの害」は入っていないと思われるが、次期計画では、市民生活の関連のところに入れるなど検討してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>化学物質対策は「7 水質汚濁の防止」に入っているが、化学物質による汚染については、多面性を有しているので、どういう形で取り込めるかわからないが検討したい。</p>
<p>委員</p>	<p>11頁「Ⅱ人と自然が共生するまちをめざして 施策の方向4 自然環境の保全と活用」について、三次計画では、中山間地に人がいるといった前提で計画が作られているが、年々人が減っているなかで、どうやって地域の力で地域を守っていけばいいかという問題がある。自然環境の取り組みとして考えると、山を守るのも人間な訳なので、市の問題として中山間地の問題に取り組み、自然を守る人間がどうやってそこに残るのかなど検討してほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>三次計画で中山間地の田園という項目があるが、農業後継者が少なくなってきた中、人間もいないというのが、農協としても問題となっているが、連携した中で対策の検討してほしい。</p>
<p>委員</p>	<p>高齢化や過疎化などの社会的な変化も考慮しなくてはならないと思っているため、検討していきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>9頁「11 快適で魅力的なまちの創造 ①コンパクトシティの推進」というのは、街なかに住み替えていくということなのか。</p>
<p>委員</p>	<p>全てが街なかに集まるということではない。既存の今ある集落をコアとして持続可能な生活環境づくりを進めていくということでご理解いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>森林の保全整備ということで、過去に減反が進み、中越地震での復興がしきれていない中、森林や水田等が荒廃してきている。次期計画の地球温暖化防止という中に、計画的な森林整備についても盛り込んでほしい。</p>
<p>事務局</p>	<p>西部丘陵工業団地に来年7月に運用開始予定の長岡火力発電が建設中である。世界最高効率の発電機がついており、発電規模が8万5千キロワットとなっている。この発電した電力を積極的に活用するような施策を次期計画に盛り込んでほしい。</p>
<p>会長</p>	<p>地場産の天然ガスを使った事業であり、天然ガスはCO₂の発生量が石油系に比べればはるかに少ないといった特徴を持っているため、そういった側面から次期計画に盛り込んでいけるか検討したい。</p>
	<p>各種データについて、一次資料は見ることができるのか。</p>

事務局	水質等のデータについては、ホームページで公開しているが、すべてのデータを公開してはいない状況である。
会長	他の部署とのリンクを貼って、元となるデータを見ることができるようにしてほしい。
事務局	以前は、年次報告書はデータ集だったが、見つらなかったためグラフ化をしていく中で、表形式のデータを減らして見やすくしてきた経緯がある。
会長	見やすくなったのは良いことだと思う。一次資料を見たい人はごく限られた人になるわけだが、見たい人が見ることができるようなシステムにしてほしい。 11頁「施策の方向3 ②オゾン層の破壊防止 フロン類の適正処理の啓発」について、フロン類の処理については、PCBのように何年度までに処理しなさいと決まっているか。
事務局	フロンについては、フロン回収破壊法において、フロン類を使っている特に空調機器の点検や破棄等について規定されていたと認識している。
会長	今はフロンを使用しない冷蔵庫や冷凍庫に移行されてきているが、その機器を回収した業者がどのようにしているか追跡調査などはしているか。
事務局	回収したフロンについては、産業廃棄物として県がマニフェストをもって適切に処理している。
会長	これまで意見を盛り込んでもらい、修正・追加し新計画に反映していただきたい。
委員	年次報告書の表紙の写真は毎回トキが使われている。四郎丸のアクロスプラザ向かいのコンビニ前に風車が設置されているが、そのような写真を使ったら良いと思うが、他に同じようなものはないか。
事務局	民間の施設については把握していない。
会長	全体を通して質問があったらお願いします。 「平成28年度に実施した主な施策」3頁の「微小粒子状物質の年平均値の推移」を見ると、このところ大きな値となっているが、今後も基準値に収まりそうだということでよいか。
事務局	PM2.5については、おそらく中国大陸での大気汚染が原因と思われるが、中国でも大気環境基準が出来つつあり、次第に減少傾向に収まってくると考えている。
会長	香りの害について意見があったが、ホルムアルデヒドのようなシックハウス症候群に関する化学物質も対象としているか。
事務局	化学物質対策の中には、ホルムアルデヒドを中心としたシックハウ

会長 事務局	<p>ス症候群や、最近はより広義に捉えて、芳香剤等の香りを嗅いでしまうとシックハウス症候群のような症状が出てしまうといった点についても化学物質のカテゴリーに入ってくると思うため、こういった形で盛り込めるかわからないが検討したい。</p> <p>これで本日の環境審議会の議題を全て終了します。</p> <p>以上で、本日の議題は終了となります。</p>
9 会議資料	別添のとおり